

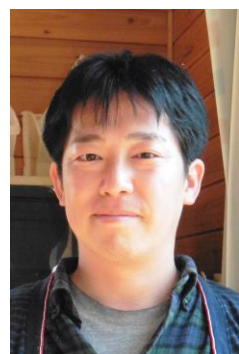


理事長就任にあたって

虹の家 新理事長 横山耕太

4年前のちょうど今頃、私は、一介のボランティアとして虹の家に毎日のように入りびたっていました。

当時の私は、前職を辞したばかりで、将来の展望も見いだせず、個人的にはかなり苦しい日々だったはずなのですが、不思議なことに不安だった記憶はあまりありません。



むしろ、利用者さんや職員の皆さんと一緒にしゃべりをしたり、ともにご飯を食べたり、散歩やドライブに出掛けたり、楽しくも心穏やかな日々を過ごしておりました。

今思い返すと、賑やかでありながら、ゆったりとした時間が流れる虹の家のアットホームな雰囲気、知らず知らずのうちに私の不安な思いを解消してくれていたのかもしれない。

新木で生まれ育ち、地元のことは何でも分かっているつもりでおりましたが、恥ずかしながら、この地域にこんな素敵なお年寄りの居場所があるなんて、それまで全く知りませんでした。

毎日、新鮮な驚きや気づきの連続でした。「そんなに楽しいならこのスタッフになっちゃいなよ」とのオファーにも、ふたつ返事でお応えしました。

虹の会の創業者でもある高井睦美さんに拾っていただいていた以来、こんな素敵なお年寄りの居場所で働けることに誇りを感じながらの、あっという間の4年間でした。

編集後記 諸般の事情で当初の予定よりも遅れてしまいましたが、ようやく第52号のニュースをお届けできました。3面の事業計画の記事でも触れましたが、今年度、人材育成研修を通じて、虹の家の理念を職員間で再確認し、日々の業務や行動に生かす取り組みを進めています。しかし、住み慣れた地域で暮らし続けたい方々の支援を行うためには、私どもの活動だけではまなりません。同じ地域に暮らす様々な立場の方々と連携をさらに強化してゆくことが必要だと感じております。そのためにも、皆さんが日々感じている生活上の思いや願い、希望や不安など、どうぞお気軽に、ご意見をお寄せ下さい。



この間、虹の会を取り巻く環境は大きく変わりました。

とりわけ、虹の会の事業の中核を担う虹の家は、介護保険制度の指定施設として事業を継続してゆくために、運営方法その他で大きな変革が求められ、今後も困難な状況が予想されます。

しかしながら、最近の国の社会福祉政策の動向を見てゆくと、各事業所の「ケアの質の向上」「地域連携」「中重度対応重視」などを通じて「地域包括ケアシステム」を構築しようとする強い意志が読み取れます。これは、幸運なことに、虹の会の設立目的である『介護が必要になってもできるだけ長く地域で暮らし続けたい』という思いに寄り添った支援を行うこと」と方向性が一致しています。

虹の会の趣旨に賛同してくださっている会員の皆さんの多くは地域住民の方々です。この強力なコミュニティーネットワークを味方に、より広範な地域の方々のご協力をいただいて、住みやすい地域づくりを進めてゆきたいというのが私たちの願いです。そして、それこそが国の言う「地域包括ケアシステム」につながってくるのだと考えております。

最後に、組織の代表を引き継ぐに当たり、所信を述べさせていただきます。①虹の家を何としても守り抜くこと ②虹の家をより多くの方々に知っていただくこと ③地域（おおむね新木・湖北・布佐地区）の住民の皆さんとともに「地域包括ケアシステム」を作り上げること この3つを私なりのライフワークに位置づけたいと考えております。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



虹の会 ニュース

第52号
2016. 7. 1
発行

編集発行 特定非営利活動法人 虹の会
TEL 04 (7179) 3133
FAX 04 (7179) 3130
〒270-1114 我孫子市新木野 3-32-15
郵便振替口座 00180-0-592018



理事長退任のごあいさつ

虹の会 前理事長 高井睦美

私はこのたび、特定非営利活動法人虹の会を退職いたしました。思えば平成15年4月、地域の有志の方々と共にNPO法人を設立してから13年。“いつまでも自宅に暮らし続けたい”という願いを微力ながら支え続けてきました。

そして、この地に高齢者見守りネットワークが作られ、さりげなく見守り活動が行われており、本年その活動がSSK（しないさせない孤立化）プロジェクトで県知事賞をいただきました。また、私どもの十周年記念事業での話し合いの中から要望が強かった地域の居場所「ふらりえ新木野」もオープンして一年。ふらりと立ち寄れる家としてたくさんのご利用者さんたちで盛況です。これら地域の社会資源の運営にも協力させていただきました。

この間、ひたすら走り続けてきましたが、気がつけば自分が介護される立場に近くなっていました。後継者にも恵まれた今、もう一度人生をリセットすべく決意いたしました。これまでのあたたかいご支援に対し、この場をおかりして心より御礼申し上げます。

介護保険制度の改変に翻弄されながら小さな事業所として歩んでまいりましたが、虹の家のモットー“ゆっくり、一緒に、笑顔で、楽しく”を今一度肝に銘じて今後も歩み続けていってほしいと祈念しております。

5月12日 さわやかな五月晴れのもと、利用者さん、スタッフ・ボランティア総勢26名で柏市花野井の吉田邸へ「春のドライブ」に出掛けました。時代劇のロケなどにもよく使われるという築150年以上のお屋敷をゆっくりと案内されて、「久しぶりにいい勉強をさせてもらった」「冥途の土産ができた」と皆さんそれぞれに満足されていました。昼食は回転寿司店へ。いつもと違った雰囲気、普段小食な方がおいしそうに召し上がる姿が印象的でした。



<http://nijinoie.iinaa.net/>



虹の家の詳しい情報はインターネットでもご覧いただけます。検索エンジン(Yahoo など)にて **在宅所 虹の家** **検索** でアクセスしてください。

先日、100歳の誕生日を迎えた富山美津さん。百寿のお祝いは虹の家13年の歴史の中でも初の快挙です。調子のいい時は、今でも頑張ってご自宅から歩いて通ってこられる富山さんの姿を見て、職員もほかの利用者さんも勇気づけられています。これからは益々意気軒昂に、お元気で過ごされることを願ってやみません。節目を記念して、ご家族様よりご寄稿いただきました。

100歳になりました！

新木野3丁目 富山素美

この頃めっきり居眠りしている時間が多くなって、足も弱ってきたおじいちゃんですが、虹の家にお世話になって5年目、いよいよ元気に100歳の誕生日を迎えました。

先日、虹の家でお誕生会を開いてくださるというので、私も参加させていただきました。本人の好物、お赤飯に金目鯛の煮付け、初物のメロンなどのおいしいお昼ご飯と一緒に頂いた後、持参した昔の写真を皆さんとみて、お花のプレゼントをいただき、なんと、おめでとうのくす玉まで。

耳が遠いので自然と口数もすくなくなり、「お礼の言葉を言うのは厳しいかな？」と思って、持参したボードに『ありがとう』を言ってください』と書くと、しばらくしてやおら立ち上がり、「本日はこのような会を開いていただいて誠にありがとうございます。これからは健康に気をつけて何年も何年も頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします」と、おじいちゃん。

思いがけない立派な挨拶ができ、感動に涙したお誕生会でした。

その日からしばらく、いただいたお花を見ては「きれいだねえ」と何回も言って眺めていました。心のこもったお誕生会、本当にありがとうございました。



長い間お世話になりました

虹の家 介護職員 古谷田恭子

6年11か月、私が虹の家で過ごさせて頂いた年月です。この度、定年を迎えることとなりました。利用者の皆さまとは、毎日のようにお会いし、いつも同じような会話をし、同じような時間を過ごしているのに、決して同じ日はありません。目と目で解り合える日もあり、何度お話ししても伝わらない日もあります。“同じだけれど同じではない”そんな毎日の営みが自分には合っていたのかも知れません。

デイルームはおしゃべりと笑顔で出来ています。スタッフとの会話に笑い声が響きます。毎週水曜日には“たまりんば”の部屋からまるで若者の女子会のような声がデイルームまで聞こえて来ます。利用者様から元気をもらうこともしばしばです。

腰痛に苦しんだり、失敗を重ねたり、悩みも多くなりました。そんな時に話を聞いてくれて解ってもらえる仲間が居たからこそ続けられたと思っています。

利用者様、ご家族様、今まで支えて下さった皆様から心から感謝しています。

ありがとうございました。

福祉車両（ハイゼット）が納車されました

虹の家 事務職員 山本宏輝

前任者の牧野さんが、かねてより日本財団へ「福祉車両助成申請」を行ってきましたが、昨年12月初旬によく助成金決定に関する書類が送られてきました。

申請していた福祉車両はダイハツ工業(株)の車いす対応の軽自動車ハイゼットスローパーです。幅広のスロープと多機能電動ウインチが装備されているため、車いすでの乗り降りラクラクが謳い文句とのこと。

そして、今年3月、待望の福祉車両が納車されました。走行時の振動は、今までの車に比べてかなり軽減され、馬力もあります。車いすが入る後部スペースには、夏は冷房、冬は暖房の送風口があり、利用者様が快適に過ごせる環境が整っています。また、電動ウインチが装備されているため、車いすの乗降時、スタッフの身体的負担が軽減されました。

車体には日本財団のロゴマークが派手に描かれており、納車当初は気恥ずかしく運転していましたが、今ではロゴマークのおかげでより一層の安全運転を心掛けるようになりました。

虹の会が保有する車両も4台となりました。車いすを使用する利用者様はさらに増えてゆくことが予想されますが、今後も利用者様により質の高いサービスを提供してまいりたいと考えています。



虹の会 今年度事業計画について

5月29日、虹の家において開催された「特定非営利活動法人 虹の会 第14回通常総会」にて承認された今年度の事業計画の概要をお知らせいたします。

- 「高齢になっても介護が必要になってもできるだけ長く住み慣れた地域で暮らし続けたい」を実現するため、以下5つの事業を実施します。
 - (1) 小規模多機能型居宅介護施設「宅老所 虹の家」の運営
 - (2) 我孫子市障害者等在宅生活支援事業（日中一次支援事業）の受託運営
 - (3) 認知症予防教室（虹の家サロン・たまりんば虹）の運営
 - (4) 「新木野高齢者見守りネットワーク」および「ふらりえ新木野」への運営協力
 - (5) 高齢になっても地域に住み続けられるための「新たなサービス」の検討
- 事業実施にあたって、特に以下3つの事項を優先的に取り組みます。
 - (1) 基幹事業である「虹の家」の24時間365日の支援体制のさらなる強化
 - (2) 職員の待遇や職場環境の改善、人材育成研修などを通じたマンパワーの増強
 - (3) 法人の取り組みを広く世間にPRし、地域の新たなニーズにこたえるため広報機能の強化